

こんにちは!

第4回

地域おこし協力隊

浅野めぐみです



茨城県出身。宮城県の大学で観光まちづくり学を専攻。出会った智頭町の人々のあたたかさに心を動かされ、卒業と同時に移住。現在は地域おこし協力隊として、毎日奮闘中。智頭町が誰かにとっての「第二の故郷」となるような、心温まる場所をつくりたい。その想いを胸に、地域の皆さんと共に力を合わせ、日々活動を行っています。

智頭で広がる居場所

秋といえば「収穫の秋」や「読書の秋」といいますが、私にとっては「活動の秋」になっています。

智頭町で暮らし始めてから、気がつけば毎日の予定がどんどん増えてきました。協力隊の活動に加え、智頭FCでのサッカーコーチ、しゃんしゃん傘踊りの練習、野菜の収穫やお店の営業など、地域の皆さんと一緒に過ごす時間が本当に多くなっています。最初は「うまくできるかな」と不安もありましたが、今では「今日も一緒にやろう!」と声をかけてもらえるようになり、とても嬉しく感じています。

日が落ちるのが早くなり、秋の夜長を感じる季節になりました。昼間は地域の活動や仕事で慌ただしく過ぎていきますが、夜、ふと空を見上げると、智頭の澄んだ星空が広がり、心がずっと落ち着きます。少し忙しい毎日ですが、町の皆さんと一緒に時間を過ごせるからこそ、とても充実しています。智頭町での秋の暮らしを味わいながら、これからも地域にしっかりと根を張って活動していきたいと思います。



おしえて!
メンドーザ先生

How your town's ALT gets hired!



あなたの町のALT(外国語指導助手)はどうやって採用されるのか!

Assistant Language Teachers (ALTs) can be hired in different ways. Many are hired directly by the Japanese government through the JET Programme. The JET Programme invited people from around the world to participate in international exchanges in Japan and to be involved in foreign language education in schools.

The JET Programme application has two main stages: document submission and an interview.

First, the Embassy of Japan in each country posts announcements online when applications open. In the first stage, applicants collect and submit many documents to the embassy. One of the most important documents is an essay explaining why we want to come to Japan and why we want to become an ALT.

Second, after submitting, we wait until around January to know if our application passed. The next stage is the interview, which usually takes place in February. In the Philippines, candidates also have to give a short teaching demonstration.

Finally, the successful candidates leave for Japan at the end of July. ALTs in the JET Programme do not choose where they go so it is always a surprise! I am very happy and thankful that my home in Japan is here with you, where the people have a kind heart and the nature and scenery is very beautiful.

外国語指導助手(ALT)の採用方法は様々です。多くは、JETプログラムを通じて日本政府に直接採用されています。JETプログラムは、世界中から日本に来たALTを招き、日本での国際交流や学校での外国語教育に携わってもらうことを目的としています。

JETプログラムの応募は、主に書類提出と面接の2段階に分かれています。

まず、各国の日本大使館は、応募受付開始時にオンラインで告知します。

第一段階では、応募者は多くの書類を集め、大使館に提出します。最も重要な書類の一つは、なぜ日本に来たいのか、そしてなぜALTになりたいのかを説明したエッセイです。

第二段階として、提出後、1月頃まで応募が通るかどうかを待ちます。次の段階は面接で、通常2月に行われます。フィリピンでは、応募者は短い教育実演も行う必要があります。

最後に、合格者は7月末に日本へ出発します。JETプログラムのALTは行き先を選べないので、いつもサプライズです!皆さんが親切な心を持ち、自然と景色がとても美しいこの町で、日本での私の故郷がここにあることをとても嬉しく、感謝しています。